

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成22年5月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670103193号
法人名	社会福祉法人 松恵会
事業所名	グループホーム ほのぼの
所在地	鹿児島県鹿児島市西別府町1801番地 (電話)099-283-7112
自己評価作成日	平成22年4月13日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成22年5月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームほのぼのは山々が見え、うぐいすなど小鳥のさえずりが聞こえる環境の中にあります。ほのぼのの入居者は穏やかにぬくもりに満ちた優しい気持ちで入居者同士助け合って生活しています。スタッフは入居者が出来ないことを一緒にゆっくりとしていき、入居者の喜びと一緒に喜び、寂しさは少しでも小さく出来るよう支援しています。また、地域の方々と交流出来るよう民生委員の方々の協力や情報を頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島市の郊外、自然環境に恵まれた閑静な場所にある。法人の特別養護老人ホームやデイサービス、関連グループの医療機関も隣接して、緊急時の対応や災害時の協力関係が構築されており、家族の安心につながっている。個々の残存機能を活かした個別支援や個別処遇を取り入れ、本人の希望でお墓参りや足湯、ときには外食することもある。開設8年目になり、今年度は外出やレクリエーションを増やし、利用者とともに楽しみながら具体的な目標をたて、前向きに取り組んでいるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. 理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日朝の申し送りの後理念を唱和しています。理念は玄関、スタッフ室、台所に貼りスタッフが意識できるようにしています。	理念は地域密着型サービスの意義を踏まえ昨年職員全員で話し合って見直しを行った。日々の目標として理念に沿ったケアを心がけている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	田上校区の文化祭に入居者をお連れして地域の方々、子供たちと交流しています。また、毎月近くの道路沿いのごみ拾いをしています。	自治会に加入し、地域行事（文化祭、運動会、お祭りなど）の情報を得て利用者とともに参加できるように計画している。また、法人のデイサービス利用者が気軽に遊びに来てくれたり、中学生の職場体験学習の受け入れも行い、地域の子供達との交流にも努めている。	
3		事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	ご近所の方が野菜を週2回ほど売りに来て下さいます。入居者の方と一緒に野菜を見て選んで買ったりしています。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し入居者代表の方が出席、また全員で交流したり会議の中で取り組み状況を報告しています。	利用者代表、家族代表、民生委員、職員などの参加でホームの状況報告、行事報告などを行っている。地域の方々との交流の機会作りの助言をもらうなど、運営推進会議がホームの運営に活かされている。今後は大勢の家族に参加してもらえるように検討している。	

鹿児島県 グループホームほのぼの

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	諸手続きに出向いた時色々な情報交換を行い教えて頂いています。	介護サービスについての相談などで助言をもらったり、生活保護の利用者の報告や話し合いをして積極的に連携を図っている。また、介護相談員の受け入れもしている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月身体拘束廃止委員会を開催しています。また職員研修でスキルアップ研修として勉強会を行っています。ほのぼのでは玄関に鍵をかけずに開放しています。扉が開くと鈴の音がしその都度確認しています。	玄関は施錠せず、職員間で見守りの位置を確認しながら利用者は自由で安全な暮らしを送っている。外出する利用者にはさりげなく着いて行き見守っている。法人内研修とホーム内研修で職員は理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。また、スタッフ会議で個々のケアについて話し合っている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員研修やスタッフ会議の中でスキルアップ研修として勉強会を行っています。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	定期的に職員研修で勉強しています。また、運営推進会議時地域包括支援センターの職員に助言を頂いたりしています。		

鹿児島県 グループホームほのぼの

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前に重要事項説明書、契約書、個人情報に関する説明をしています。特に入院、退居時の説明を確りとし、質問等ないかの確認をしています。改定時には電話等で説明し文書で確認しています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置しています。又、家族との会話、家族会、運営推進会議での意見を聞き運営者に報告しスタッフ会議で検討しています。</p>	<p>面会時や家族会などで気軽に意見・要望などを聞き出すようにしている。家族より衣類の管理についての質問や仏壇の供花についての要望などが出るなどサービスに活かしている。利用者からは日常の会話の中で意見・要望を聞き出すようにしており、個別処遇を取り入れ、行きたいところや食べたいものの希望を聞いたりし利用者の満足に繋げている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月始めに全員参加でスタッフ会議を行っています。その中で意見交換し、みんなで話し合っています。又、必要に応じ臨時にスタッフ会議を行っています。</p>	<p>毎月のスタッフ会議で職員はケアについてやレクリエーションなど活発に意見や提案を出し合っている。入居についても事前に職員に情報を提供し、意見をもらっている。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>労働時間の改善や給与面の見直しを行い常に職場環境整備に努めています。</p>		

鹿児島県 グループホームほのぼの

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>新人研修や段階に応じて研修の参加を推進しています。新人職員につきましては1, 3, 6ヶ月で本人、指導者の業務評価表を作成しています。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県や市のグループホーム連絡協議会に加入し職員研修会に参加をしています。1月には地区内の小規模、グループホームの管理者の意見交換会に参加しました。今後も出席し情報交換していきたいと思います。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居者の方は新しい所に行くのはとても不安だと思いますので初めてお会いした時は本人様に出来るだけ話をし好きな事、出身地など聞きながら不安を少しでもとりのぞき信頼関係を築けるようにしていきたいと思えます。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居にあたりこれまでの御家族の悩みなどお聞きし、入居後は様が穏やかに過ごせるよう御家族と話し合いながらほのぼののスタッフと一緒に支援していきましょうと話しています。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>まず居室で本人や家族の希望等をお聞きし本人、家族が話しやすい環境を作り、まず必要とされる事を見極め支援しています。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者が沈みがちになり涙を流されたり、怒りがあり他の入居者に強い口調になる事もあります。そういう場面の際はさりげない会話の中で原因を探し、会話をするうち落ち着かれる事もあります。</p>		

鹿児島県 グループホームほのぼの

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の立場になって接するようにしています。入居、面会、担当者会議時家族の意向、悩み、喜びをお聞きし、また入居者様のエピソードを伝え入居者の方に御家族の思いを伝えたりしています。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>御家族以外に友人やデイサービス利用者、スタッフが面会に見えています。個別処遇で昔住んでいた地域、店お墓参りに行ったりしています。</p>	<p>個別支援を実施しており、本人の希望と家族からの情報でなじみの場所との関係が途切れないよう支援している。近所の友人でデイサービス利用者が遊びにくるなど、なじみの人との関係継続の支援にも努めている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者それぞれの性格があり自分から話しかける、みんなの中に入るのが苦手な方がいますので一人ひとりが寂しい思いをしないよう輪に入れるよう支援しています。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用 契約 が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院された方もその後の近況報告はもちろん、退院された後のフォローをしています。御家族は元気になった時の為に再入居の申し込みをされています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>何気ない会話の中から本人の希望や意見を聞きだしています。困難な時は家族の話や昔の話をしたりすると自分からいろんな昔話をされる事がよくあります。</p>	<p>故郷の話など、こちらから話題を提供して思いや意向を聞き出すようにしている。困難な場合は表情や言動、家族からの情報などから本人本位に検討している。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人の話や家族の協力を頂いて出来るだけ把握できるように努めています。入居者は故郷の話をする時はいきいきとしています。個別処遇で馴染みの場所などにお連れしています。</p>	/	/
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>ご本人が出来ることは出来るだけして頂いていますが、その時その時で出来ることあるのが出来なかつたりすることがあるので体調や気分変化、状況をみて支援しています。</p>	/	/
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>プランを作る前にスタッフとモニタリングを行い出来ること、出来なくなったこと、出来るようになったことなど話合っています。特に入居者担当者の意見を聞き個別処遇を含むプラン作成をしています。</p>	<p>本人・家族と自宅や施設・病院などで事前に面会して意見、意向を聞き本人本位の介護計画を作成している。3ヵ月ごとのモニタリングで個々の身体状況に応じ現状に即した介護計画の見直しを行っている。墓参り、家族との時間作りなどプランに取り入れている利用者もいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>定期的（毎週火曜日）にカンファレンスを行い情報交換、確認をし、気付いたこともまめに記録し介護にいかしています。本人や家族の言われた事は情報の共有化をする為にノートに記録し全員が把握するようにしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>不穏になっている方、沈みがちになっている方については話を傾聴し、散歩に出かけたりして気分転換をはかっています。又足の浮腫みのある方については下肢の挙上の為の道具の工夫をしています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>年2回の避難訓練は警察の方、消防署の方々の協力を頂いています。また中学生の職場体験や各種ボランティアの受け入れも行っていきます。個別処遇では近隣の店に行ったりしています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居以前からの係りつけ医で定期的に受診及び検診を行い健康管理に努めています。緊急の場合を考え協力病院での定期健診も行っています。</p>	<p>本人、家族の希望するかかりつけ医の受診が継続できるように支援している。協力病院の往診や看護師との連携、夜間帯の緊急時の対応なども話し合っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>特養ホーム、デイサービス、協力病院の看護師の方々は入居者の状況を把握して下さっていますので入居者の体調変化や気になることがあった時は相談しています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院後は入院先に出向いてグループホームでの状況経過を情報交換し、少しでも早く退院できるように努めています。職員が出来るだけ見舞いに行くようにしています。顔を見せるととても喜ばれます。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>御家族やご本人の意向を一番に考えています。御家族へは入所前、担当者会議等の時説明しています。また特養ホームの看護師より終末期に向けて意見、指導を受けています。</p>	<p>入居時に重度化や終末期のあり方についてホームの方針を説明して意思確認している。職員全員で話し合いの場を設けているが、文書化した具体的な指針の作成にはまだ至っていない。</p>	<p>事業所の力量や体制を見極めてホームとしてできる最大限の支援について職員全員で再度話し合い、現状に見合った指針の作成と話し合いの記録を残すように今後の取り組みに期待したい。</p>
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修会での実技や看護師を招いて勉強会を行い急変に対応できる体制をとっています。また、職員の移動もあったのでスタッフ会議の中で緊急時の対応について再確認を行っています。</p>		

鹿児島県 グループホームほのぼの

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練の他に職員・入居者を交え災害時避難方法について話し合っています。</p>	<p>年2回昼夜間想定で利用者とともに避難訓練を行っている。併設の施設とは協力体制を築いている。</p>	<p>今後はより実践的な避難訓練を行い、反省会や意見交換などで万全な災害対策の取り組みに期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の使用に係わる同意書を入居時に説明し、同意を頂いています。言葉もその入居者の生活歴を重んじ尊敬の念を持って鹿児島弁、共通語と使い分けています。	援助が必要なときも本人の尊厳を無視した対応にならないようにさりげないケアを心がけ、言葉に配慮している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者の話しに耳を傾け、日常生活の中で入居者の希望、思いを実現しています。中にはなかなか自己決定されない方もいますが、表情等を用意しながら本人の希望をくみ取り自己決定を働きかけています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本を読むのが好きな方に対しては本の内容を聞いたり一緒に読んだり、歌を歌ったり、又仕事、役割を楽しみにされている入居者が多いので出きる事をして頂いて入居者の希望にそって過ごして頂いています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎朝化粧をされている方もおられます。また、外出の際は女性の方はお化粧をし自分で選んだ外出着でかけます。お化粧すると皆さん笑顔で鏡を見られています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の野菜が手に入ったり、育てた野菜など一緒に収穫しています。食材の美味しい食べ方を教えて頂きながら食事の準備、かたづけを出来る範囲で手伝って頂いています。	個別支援で外食（ハンバーガー、カレー、そばなど）を楽しんだり、お弁当持参で遠足に出かけるなど、ときには雰囲気を変えて食事を楽しんでいる。天気の良い日は庭でお茶をしたり焼肉をすることもある。ホームの献立については法人の管理栄養士にアドバイスをもらっている。	

鹿児島県 グループホームほのぼの

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事については好き嫌いがあり全く手を付けられないものがあったりするので声かけてバランスよく摂取できるようにしています。また、1日の水分量を確保し摂取の少ない方、尿量の少ない方は特に注意して摂取できるようにしています。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後自立の方は声かけて口腔ケアの確認をしています。他の方々はその人その人のできることをして頂いてできる範囲で口腔ケアを行って頂き口腔状態を確認しています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>失禁された方に対してはさりげなく声かけし、本人が傷つかないようにしています。また、入居者それぞれの排泄パターンを把握し時間をみて声かけや誘導をし、排泄の自立支援に向けて行っています。</p>	<p>おむつの使用はさけて時間を見計らって誘導することにより、トイレで排せつできるように支援している。誘導の際の声かけや失敗したときの着替えなどもさりげなく行うなど羞恥心への配慮にも心がけている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>緩下剤の使用はしていますが、なるべく自然な排便ができるように繊維質の物を食事に入れたりしています。また、毎日の牛乳を日課にしています。便秘症の方に朝一番に牛乳を飲んで頂いている方もおられ、それにより便秘が軽減されています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴前にバイタルチェックをし、本人の希望を尊重して入浴しています。血圧の高い方やその時の状態により早めにあがって頂いたりしています。入浴を拒否される方には話題を替え気分転換をしていただいています。	基本的には一日おきの入浴となっているが、希望があれば毎日でも可能である。個別支援で足湯に出かけることもある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者の皆さん夜寝る時間、起きる時間、休息の時間それぞれ違います。昼間食堂にて居眠りしている方には「風邪を引きますよ。」と声かけし居室で休んで頂いたりしています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者全員の薬のリストを作成して職員全員が把握できるようにしています。又変更等があるので申し送りノートに記入し、スキルアップ研修で服薬、副作用について再確認しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	趣味を持っている方にはその趣味を生かして作品を部屋に飾って頂いたり、家事については出来る仕事をお願いして入居者にここでの生活の役割を感じて頂けるようにしています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別処遇で墓参りに行かれる方、故郷に行かれる方、買い物に行かれる方、家に帰られる方、普段の会話の中で行きたい所、本人の希望を聞いたりしています。入居者の中には足湯に行かれた方もおられます。	天気がいい日は散歩や買い物同行、ドライブなどで戸外に出かけられるように支援している。年間の外出のレクリエーションの計画を立て、普段出かけられない場所などに出かけて気晴らしの支援をしている。	

鹿児島県 グループホームほのぼの

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理のできる方は御家族の了解の上もっておられます。外出の時入居者の皆さんにお土産を買い以て自分で払って頂いています。毎日小銭を数えるのを日課にされている方もいらっしゃいます。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者の希望があればすぐに対応しています。家族の手紙を楽しみにされている方もおられます。また、手作りの年賀状も御家族から好評です。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各部屋日当たりがいいのでカーテンで調整しています。玄関、食堂、テーブルは季節の花を入居者に生けていただき花を絶やさないようにしています。居室の温度、湿度には注意し入居者に尋ねたり、汗ばんでいないか確認したりしています。また、気管の弱い方の部屋は湿度を保てるように工夫しています。</p>	<p>共用空間は外からのプライバシーが保たれ明るく居心地良く過ごせるよう配慮されている。季節の花や飾り物などで家庭的な雰囲気である。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホーム内に3箇所ソファを置いており、入居者が並んで座り話をされたり歌を歌ったりされています。また、畳のスペースでは入居者の洗濯物たたみや休憩の場として役立っています。</p>		

鹿児島県 グループホームほのぼの

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の中には仏壇を持ち込まれている方もおられ毎朝お茶ご飯を供え手を合わせておられます。	畳敷きの部屋もあり身体状況に応じて配慮している。家族の写真や仏壇、読書好きな利用者の部屋には本がたくさんあり、居心地良く過ごせるように工夫されている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室のわからない入居者には手書きの名前を貼って理解されています。また、ご自分の居室入り口にある時計等の目印を覚えて頂いたり目印の物をつけたりしています。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1	ほぼ全ての利用者の
		2	利用者の2/3くらいの
		3	利用者の1/3くらいの
		4	ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1	毎日ある
		2	数日に1回程度ある
		3	たまにある
		4	ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36,37)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない

鹿児島県 グループホームほのぼの

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ全ての家族と
		2	家族の2/3くらいと
		3	家族の1/3くらいと
		4	ほとんどできていない

鹿児島県 グループホームほのぼの

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1 ほぼ毎日のように
		2 数日に1回程度ある
		3 たまに
		4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1 大いに増えている
		2 少しずつ増えている
		3 あまり増えていない
		4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	1 ほぼ全ての職員が
		2 職員の2/3くらいが
		3 職員の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1 ほぼ全ての家族等が
		2 家族等の2/3くらいが
		3 家族等の1/3くらいが
		4 ほとんどいない